

連載＝四国八十八ヶ所めぐり

「歩き遍路の旅」 9

会員 樋口俊介

菩提の道場 (伊予の国) その1

40番(観自在寺)～65番(三角寺) 合計26ヶ寺(愛媛県)

旅も半ばを迎え、菩提の道場(伊予の国)へ。

札所間の距離が2番目に長い第43番(明石寺)から第44番大宝寺を打ち、

難易度が高い方の第45番(岩屋寺)を終えると、いで湯の里である道後も直ぐに近い。

当日に歩くお寺に関する由来とか伝説等の内容を分かる範囲で説明と、歩き遍路中の出来事等を含めて書き、必ず最後まで歩き通します。

第31回

平成23年1月10日(月)～1月11日(火)

新春の南予を歩く(一本松～畑地)

歩き(ウォーキング遍路) 札所1ヶ所
1泊2日 約35km

40番(平城山) 観自在寺「かんじざいじ」

所在地＝愛媛県南宇和郡愛南町御荘町

平城2253-1

電話＝(0895)－72－0416

開基＝弘法大師

宗派＝真言宗大覚寺派

本尊＝薬師如来

○平城天皇の勅願により、弘法大師が開基。

1本の霊木から本尊の薬師如来と脇侍の阿弥陀如来、十一面観音の3尊を刻んで堂宇に安

置。平城天皇の髪を納めた五輪の塔がある。

◎薬師如来について

人間の病苦を癒し心の苦悩、厄を取り除など12の誓願をあらわす如来で、四国霊場にはいちばん多く祀られている。

筆者紀行

○一日目は宇和島で昼食して、前回歩いてきた一本松から内海支所までの約17kmを歩く。

家を5時56分出て、山幸発7時15分のバスに乗り倉敷を経由して、早島ICに上がり西予宇和ICで下りて、今日の目的地で前回に歩き終えた一本松へ、当日の参加者は30名でした。

バスで約4時間30分も走り、ようやく到着するも直ぐに宇和島市内で昼食を済ませる。

自分の感じではこれまでに凄く歩いた様な気分ですが、今回の40番(観自在寺)近くがほぼ中間地点になるらしい、新ためて気持ちを引き締め歩き遍路を、楽しみながら前進あるのみ。

13時02分から歩き始める観自在寺は高台にあり、寺を囲むように町が広がっている。また

かつては延暦寺の荘園があった事に由来して、このあたりを御荘というそうです。



観自在仁王門の干支

第40番観自在寺

宿毛から旧宿毛街道を通り、しばらく田園風景の中やミカン畑を歩くが、国道56号を主として多く歩き、そして江戸時代の土佐藩(高知)と宇和島藩(愛媛)の関所跡近くも歩く(今回は伊予の関所跡)何時ものことながら沿線の方々の応援や励まし、お接待等すべてが感謝で

す。

14時15分に40番（観自在寺）に到着する。

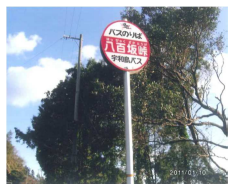
仁王門の天井を見ると干支の絵が鮮やかに描かれた円形の板があった。この円板は、方位盤で町の文化財。平城天皇の勅願寺で、境内には天皇の遺髪を埋めた五輪石塔や「天皇の松」と書かれた松があった。

なお40番札所は、四国霊場の第一番札所「霊山寺」から一番遠い場所であることから、「四国霊場の裏関所」と呼ばれているそうです。

すぐに本堂と大師堂にお参り、心を込めて大きな声で読経とお願い事をする。次へと14時45分頃から八百坂峠へと遍路道を歩く、その間は身体には優しく何と気分爽快に感じる。



宿泊のサンパー



八百坂峠

本日の目標地の内海支所には、17時30分に着く、あとバスでホテル（サンパー）へ直行する。早速にお風呂に入らせて頂き疲れを十分に癒して、夕食を楽しく美味しく頂きました。

あとは皆さんと和やかにくつろぎ、雑談して23時50分頃に睡眠する。

よし明日も楽しみ元気で歩くぞ！！

なお本日の歩数は25,605歩でした。

○2日目は前日に歩き終えた内海支所から津島までの約18kmを歩く

6時20分に起床し朝食を済ませて、ホテルを7時25分にバスで出発し前日に歩き終えた内海支所へ、直ぐに準備運動等を行う。

7時51分から歩き出し柏坂峠へ歩く、国道56号（宿毛街道）を主に歩くが、柏坂峠に入る近くから遍路道になり身体には優しく疲れが和らぐ、内子で少し休憩してから再度歩くも、しかし登りは急斜面で大変でした。

柏坂峠を中心に上り下り付近には野口雨情の歌が書かれた看板があり、感銘し心が和みます。



柏坂峠の遍路道



野口雨情の歌

【「野口雨情」（1882－1945）63才没昭和18年に愛南町に10日程逗留し、地元の人達と交流する。その際に20位の歌を詠んだ。その中から8つを選んだ（平成になってから）】

頂上は470m（海拔）で見晴らしの良いところ（「つわな奥」と書いた看板あり）で、気分爽快で少し休憩を取り疲れが一変に飛んでしまった感じ、なお、下りは穏やかで楽でした。

再度国道56号を歩きオレンジロードの途中から小雨が降り出し傘を差して歩き、今日の目標地に13時31分に到着する。

バスに乗り一路岡山へ倉敷を経由して、我が家には19時45分に帰宅する。本日も楽しく元気で歩け家族に、自分に、皆さんに、全てに感謝です。



柏坂峠の頂上



国道56号近くのロード

「つわな奥」は地名で、つわぶきが多く自生している所という意味の様 つわぶき＝つわな
なお本日の歩数は26,167歩でした。

合計約35kmで51,772歩です。「1日目
25,605歩」「2日目26,167歩」

第32回

平成23年2月7日(月)～2月8日(火)伊
予の国 菩提の道を歩く(畑地～佛木寺)

歩き(ウオーキング) 遍路 札所2ヶ所
1泊2日 約34km

41番(稲荷山) 龍光寺「りゅうこうじ」

所在地＝愛媛県宇和島市三間町戸雁173
電話＝0895-58-2186

宗派＝真言宗御室派 開基＝弘法大師 本尊＝十一面観音菩薩

○狛犬2頭が仁王像に代わって出迎えてくれる。
もともとが稲荷神社だったとの、ことで地元
の人々からは「お稲荷さん」と呼ばれ、親し
まれている。五穀豊穡の神様・稲荷大明神は、
本尊とともに祀られている。

◎十一面観音菩薩について

観音菩薩は姿を変えて衆生の願いに答えて
くれるという。多くの面は、救済の多様性を
表している。

42番(一環山) 佛木寺「ぶつもくじ」

所在地＝愛媛県宇和島市三間町則1683
電話＝0895-58-2216

宗派＝真言宗御室派 開基＝弘法大師 本尊＝大日如来

○大師はこの場所こそ、仏教を広めるにふさわ
しい場所だとし、楠で大日如来を刻み、宝珠
を眉間に納めた。緑におおわれた本堂は、吉
田藩主伊達公の建立と伝えられ、シンボルと
もいえる「茅葺き屋根の鐘楼」は300年の

歴史を持つ風格があり、稀少価値が特にある。

◎大日如来について

真言密教の中心となる仏で、宇宙のすべて
の現象は大日如来の徳によるものという。他の
仏の徳も大日如来の一身に帰する。

筆者紀行

◎一日目は前回歩いてきた津島から龍光院まで の約17kmを歩く

山幸発7時15分発のバスに乗り、倉敷を経
由して本日の参加者は37名で瀬戸中央道の早
島インタで上り途中で休憩を取り、西予宇和IC
で下りて、直ぐに宇和島市内の国道56号線沿
いの真珠会館(レストラン宇和島)で昼食をす
る。

バスで先月に歩き終えた津島に戻り、注意事
項の説明を受け、簡単に身体をほぐす準備運動
を各自で行い気持ちも体も整う。



別格霊場第6番龍光院



馬目木大師でも御参り

13時05分から歩き始め、途中の馬目木大
師では御参りする。四国での海洋レジャーの拠
点ともいえる足摺宇和海国立公園に沿って進む。
遍路で望む内海湾では、静かな海に並ぶ真珠
貝養殖のブイが見られる。2回のトイレ休憩を
行ない龍光院(別格6番)には16時55分着
く。

遅くなったが門が開いていたので、先達さん
と37名で気持ちを込めて御参りする。境内を
出てバスが停車しているところまで、暫く歩き
バスで17時56分宿泊のホテルへ。

なお本日の歩数は27,185歩でした。

○2日目は前日に歩き終えた龍光院から齒長地蔵までの約17kmを歩く

7時58分から歩き始め龍光寺へ向かう、
子供さんが家の中から手を振ってくれたり、
中学生の女子生徒が通学途中に頑張って下さ
いと声かけて手を挙げてくれる。

この元気なパワーをもらい疲れや体の痛いところ等は無くなる感じです。有り難う！四国の皆さんに感謝です。！！

門前のひなびた情景を堪能し第41番（龍光寺）には10時15分に着く。



第41番 龍光寺



第41 番龍光寺に行く途中

「龍光寺」は、寺だというのに赤い鳥居が遠くから目立っていた。なぜだろう？と思って調べてみると、元々は、稲荷神社だったそうで、お寺に入ってみると稲荷神社が祀られていた。

そのため、今も地元の人々からは「三間のお稲荷さん」と呼ばれ、商売繁昌や開運出世を願う人が多いそうです。

龍光寺の門前には「長命水」という、うどん屋さんがあり、そこで食事をした人には、空いたペットボトルに屋号の由来になっている「長命水」を入れて貰えるそうです。今回は残念ながら立ち寄り事が出来ず次回を楽しみに。

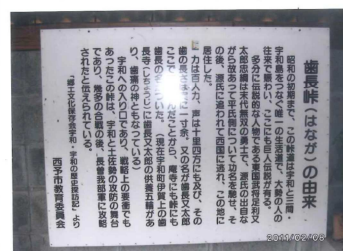
早速に本堂と大師堂では37名全員が大きな
声で読経し大変に活気があり元気を貰いました。

10時48分に出発し次の42番へ歩く龍光寺からはほど近く、3kmくらいの距離にあり田園風景の静かな中の札所で茅葺きの鐘楼堂が印象的である。

寺の近くまで来て、先にバスで近くの和風レストランに行き昼食をする。再度歩き終えた所にバスで帰り、そこから10分くらいで42番（佛木寺）には12時50分着く



第42番佛木寺



歯長峠の由来看板

入口の仁王門は2階建てで、とても立派です。境内の鐘楼堂は元禄年間（1688～1703年）に建てられたもので、四国霊場では唯一の茅葺き屋根の鐘楼堂だ。たしかに、茅葺き屋根

四国のほかのお寺では見られない光景だと思う。

風情があつて凄くいい感じ、本堂も歴史を感じさせる造りでした。厳かに本堂と大師堂で全員が心をこめて読経し、お願い事をする。

あと準備を整え気持ちを引き締めて、次へと
13時32分に歩き出す、途中にトイレ休憩を
1回とり約2時間歩くが、その間でも温かい声
援そして自然の風景や心地良い風、のどかな雰
囲気を感じ、満喫しながら歩ける事が最高です。

本日の最終の目的地である歯長地蔵に15時35分到着する

バスに乗り一路岡山へ15時41分に出発し西予宇和 IC に上り早島インタで下りて倉敷を経由して、我が家には21時20分に帰宅する。

気分良好で疲れなし！！家族に感謝！皆さんに、自分に感謝！有り難う！

なお本日の歩数は27.466歩でした。
合計約34kmで54,651歩です。「1日目27.185歩」「2日目27.466歩」

第33回

平成23年3月7日(月)～3月8日(火) 伊予の小京都へ(佛木寺～大州)

歩き(ウォーキング) 遍路 札所1ヶ所
1泊2日 約32km

43番(源光山) 明石寺「めいせきじ」

所在地＝愛媛県西予市宇和町明石201
電話＝0894-62-0032

宗派＝天台寺門宗 開基＝天澄上人 本尊＝千手観音菩薩

○地元の人々から「あげいしさん」と呼ばれているのは、美しい女神が願掛けのために深夜に大石を山の上まで運びあげていたという伝説に由来している。弘法大師が修行した「弘法井戸」「しあわせ観音」など見どころも多い。

◎千手観音菩薩について

千手千眼観自在菩薩というのが正式な名前で、それぞれの手に眼をもつ。さまざまな持ち物を手にして世界の衆生を救済する。

筆者紀行

○一日目は前回歩いてきた齒長地蔵から宇和町久保までの約17kmを歩く

家を5時50分に出て、山幸発7時13分に乗り両備バス倉敷を経由して、本日の参加者は31名で、瀬戸中央道に上り児島インターを通

過して今日の目的地へ、何時もより車が少ない様で予定通りに走れた。

前回歩き終えた齒長地蔵には11時15分に到着する。準備を済ませ当日の予定の説明を受けてから、11時25分から歩き出し、途中で1回のトイレ休憩を行い12時45分に43番(明石寺)に到着する。

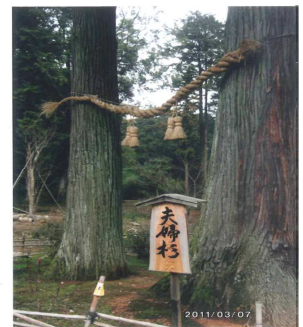
境内全体が緩やかな丘陵で、豊かな緑に包まれている。札所から JR 予讃線卯之町駅付近に向かうと、江戸末期の風情が残る町並みがある。

明石寺は、「めいせきじ」と読むのだが、地元の人々からは「あげいしさん」と呼ばれているそうです。

赤い屋根瓦の仁王門は珍しいなあと思うたら、本堂の屋根も赤瓦だったので、お寺の方にその理由伺ってみた。「冬には雪が積もるので、屋根瓦は寒さに強い石見瓦にしているんです」山間での四国は雪が多いようで、なるほど雪対策だったのか、先人の知恵の深さと凄さに感心する。



第43番 明石寺



見事な夫婦杉

このお寺でビックリしたのが、本堂の賽銭箱が床に埋め込み式になっていたこと。盗難防止のためだろうか？それとも他の理由かな？

なお愛媛で「タルト」といえば、ゆず味のアンコ、栗入り(一六タルト)等のお菓子の事らしい。

本堂と大師堂で気持ちを込めて、31名で読経をすませ、先達さんから寺に関する詳しい説明や由来などの話を聞く。

あとバスで近くのレストランに行き昼食をする。(12時50分～13時30分) 折り返し明

石寺に戻り準備をして、14時05分から次へと歩き出す、宇和加茂局の前を通り今日の目標地である宇和町久保に16時53分に到着する。

バスで宿泊先（松屋旅館）に行く、着いて部屋別になり3名が同部屋となる。しかし松屋旅館は古い老舗旅館で昔は、前島密（郵政の父）、新渡戸稲造、(元国連事務総長) その他多くの著名人が、お泊りなられた由緒ある旅館で超有名ですが、設備面が行き届かず（保存のため）改造出来ず、昔のままで維持されているそうです。

早くお風呂に入りたいと思いきや、此处は各部屋にバス、トイレなし、大浴場、部屋の鍵なし、冷蔵庫、売店なしで、1ヶ所にシャワーが有るだけで、やむなく順番に行く。



松屋旅館



松屋旅館に宿泊著名人（一部）

何だか 疲れが取れないように感じるが、しかし最高の思い出になる伝統ある旅館に宿泊できたことが光栄でした。

夕食を美味しく頂き、あと部屋で10人の方々と各自の思いや、政治、経済等いろんな事を話し合い大いに議論する。23時40分頃に睡眠

なお本日の歩数は26.840歩でした。

○2日目は前日に歩き終えた宇和久保から十夜ヶ橋（永徳寺）までの約15kmを歩く。

5時50分に起床し朝食を済ませ、7時25分にバスで出発し、前日に歩き終えた宇和久保に7時40分に着き、十分な準備運動、昨日の事があるので、気持ちの切り替えを行い、軽い準備運動をして7時50分から歩き始める

国道56を北に進み北只を過ぎ、かなり狭い鳥坂トンネルを通り、歩きつづけるが、歩道を

歩く人、すれ違いの人々から、頑張れ、身体には気をつけて等の励まし言葉を掛けてくれる。四国の皆さんの温かさや励ましには常に感謝です。

大州市街に入る。明治時代の町並みが残り、テレビドラマ「おはなはん」のロケに使われたおはなはん通りを通過して、バスで近くの店に行き昼食をする。再度しばらく歩いて番外札所十夜ヶ橋（永徳寺）に13時55分に到着する。

○十夜ヶ橋（永徳寺）についての説明を。

この地を訪れた弘法大師は、この辺りの民家に宿を請うたが、ことごとく断られてしまった。

仕方がなくこの十夜ヶ橋の下で野宿をした際、空腹のあまり一夜も十夜の長さに感じたという。

「行きなやむ 浮き世の人を通さずば 一夜も十夜の橋と 思ほゆ」

と大師が詠んだ歌から、この橋の名が付いた。

ところで、遍路たちは橋を渡るときには金剛杖を突かないというルールがあるが、これは、橋の下の大師の眠りを妨げないためである。



十夜ヶ橋



十夜ヶ橋永徳寺の説明

十夜ヶ橋の下と永徳寺で念入りな、御参りを済ませて14時01分に帰路岡山へ、内子五十崎ICに上り児島ICを通過し、早島インタで下り倉敷を経由して、我が家には20時35分に帰宅する。少し足の痛さはあるが気分は良好だ、

自分の身体に感謝！家族に感謝！有り難う！

なお本日の歩数は25.674歩でした。

合計約52.514歩です。「1日目26.840歩」「2日目25.674歩」

※前回の（きび考）第10号で第二部の「修行の道場」土佐の国 24番～39番（16ヶ寺）が終わり、今回からは第三部の「菩提の道場」伊予の国 40番～65番（26ヶ寺）に入り、次は讃岐の国へと歩き続けます。どうぞ宜しくお願いします。 **まだまだ続きます！！**